

平成16・17・18年度

文部科学省 学校図書館資源共有ネットワーク推進事業

読む楽しさ 学ぶよろこびに あふれる学校図書館



静岡県榛原郡吉田町教育委員会

読む楽しさ 学ぶよろこびに あふれる図書館

これからの社会が目指すのは、『生涯学習社会』であると言われています。生涯学習社会とは『人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される』社会であります。そして、学校教育は生涯学習の一つであるとともに、生涯学習の基礎基本を学ぶという意味で重要な役割を持ちます。学校では、国語・算数・理科・社会・音楽・図工・体育などの教科をはじめとし、諸活動を通じて生涯学習社会を生きていくための基礎基本を学んでいきます。ところで、学校で行う学習で、最も基本的で大切なものは『読書』であります。学習を植物の成長に例えるなら、『読書』は植物を育てる土と光と水であります。土と光と水なくして植物が育たないように、読書なくして学習の深化、人間の成長はないと思います。読書は知識を得るだけでなく、時間と空間を越えたあらゆる人達の考え方や生き方に学ぶことが出来ます。意識しなくとも、本を読み進むうちに著者や登場人物の影響を受けていくものです。しかも、ここでは、誰に気兼ねすることなく学習できるのが特徴です。

前置きが長くなりましたが、私達は、次代を担う子どもたちの成長のために必要不可欠な読書環境を整備していかなければなりません。まず、子どもたちの通う学校の図書室を充実する必要があります。図書室には、子どもたちが読みたい本、調べたい資料を揃えておくことが必要です。辞典類をはじめ、古今東西の小説や童話、きちんと整理された写真集や統計資料なども必要です。図書室へ行けば何でも揃っているということになれば、図書室に向かう子どもたちの足にも弾みがつきます。しかし、現実には資料購入のための予算には限界がありますので、全ての学校に必要な全ての資料を整えるということは不可能に近いことです。そこで、無駄なく有効に資料を活用するためには、公立の図書館を含めて、地域の学校図書室が相互に資料を共有して活用することです。資料検索を行って、公立図書館や町内の学校図書室から資料を借りることで資料の有効活用が出来ます。これを通して、同じ資料を別の学校の子どもたちが互いに利用し合うというのも楽しいことです。

吉田町では、平成16年から3年間、文部科学省の研究指定を受け、「学校図書館資源共有ネットワーク推進事業」に取り組みました。町では平成11年7月町立図書館開館の前年から、町内の各小・中学校に段階的に司書を派遣し、司書教諭と協力して子どもたちの読書への関心を深めるべく努力してきました。学校司書は、町立図書館と連携を取りながら、その都度、資料を借り、活用してきました。

今回、国の指定を受け、町立図書館を軸に、町立図書館と町内四小・中学校の相互貸借に弾みがつくことになりました。これまで、各学校2万冊足らずの資料が資源共有で17万冊に増えたこととなります。相互貸借や授業での活用は既に実践の段階に入っております。将来、地域にある企業などの協力が得られれば、専門書を含めてかなり多くの資料を共有、活用することが出来るようになるはずですが。

まだ、資料共有については多くの課題があります。それぞれの学校での共通基本資料をどうするか、その上で各学校がそれぞれどんな分野の資料を集中的に集めるか、このシステムを授業でどう生かすか、相互貸借の資料運搬をどう効率的に行うか、などです。将来的には、近隣市町の間でも資料の共有化が出来れば素晴らしいと考えます。

静岡県吉田町教育委員会
教育長 黒田和夫

目次（報告書）

| | | |
|-----|-----------------------------|----|
| I | はじめに | 1 |
| II | 研究の構想 | 1 |
| 1 | 研究主題 | 1 |
| 2 | 主題設定の理由 | 1 |
| (1) | 研究の経緯 | 1 |
| (2) | 研究の目的 | 2 |
| 3 | 研究の方法 | 2 |
| 4 | 研究の組織 | 3 |
| (1) | 学校図書館支援センター委員会 | 3 |
| (2) | 学校図書館連絡会議 | 3 |
| (3) | 吉田町教育委員会学校教育課 | 3 |
| III | 実践 | 4 |
| 1 | ネットワークシステムを構築する | 4 |
| (1) | 町立図書館と学校図書館との連携 | 4 |
| ア | WEBからの予約受付 | 4 |
| イ | 町立図書館から学校への貸し出し・返却のシステム（物流） | 4 |
| ウ | 学校図書館への支援 | 4 |
| (2) | 学校間相互貸借システム | 5 |
| ア | 学校図書館全体計画の検討 | 5 |
| イ | 本の分担収集 | 5 |
| ウ | 貸借の方法 | 5 |
| (3) | 小・中学校テーマ別蔵書リストの作成 | 5 |
| 2 | 研修をとおして職員の意識を高める | 6 |
| (1) | 職員の協力体制づくり | 6 |
| (2) | 外部講師を招いての職員研修 | 6 |
| 3 | ネットワークを活用した授業を研究する | 7 |
| (1) | ネットワークを活用した授業の進め方 | 7 |
| (2) | 小学校の実践 | 8 |
| (3) | 中学校の実践 | 10 |

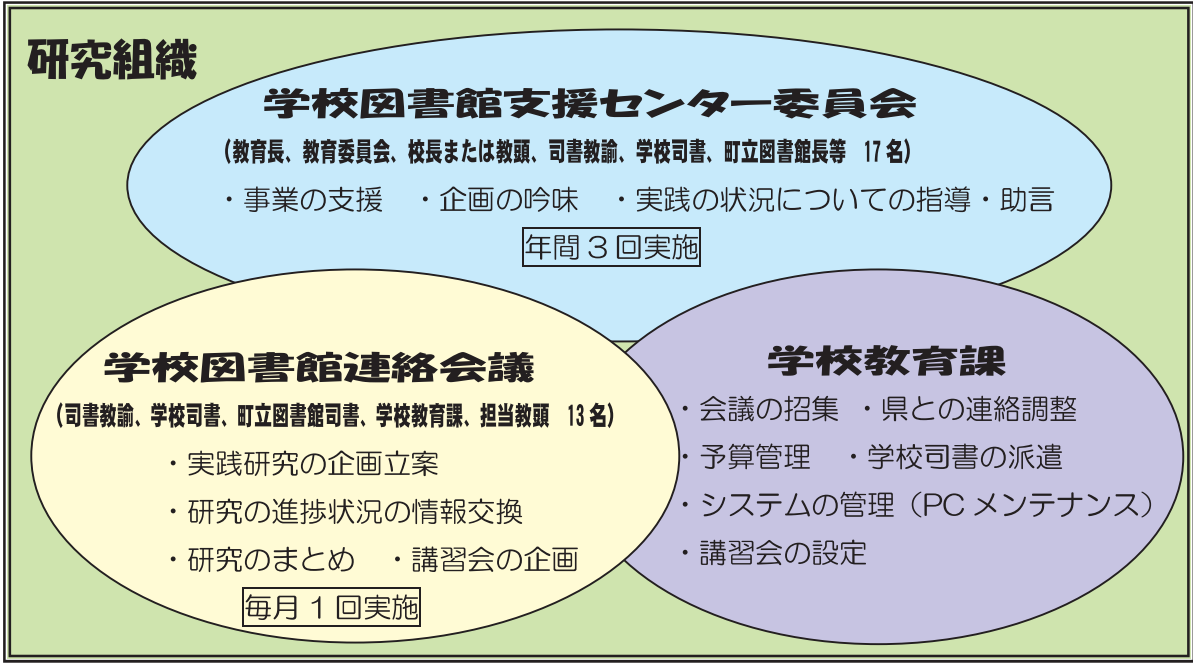
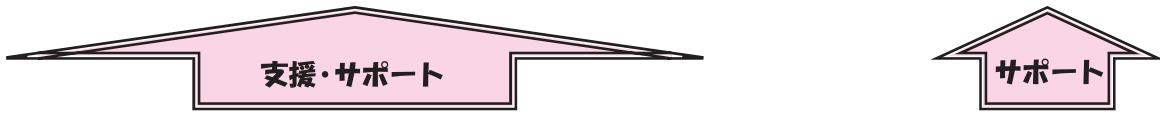
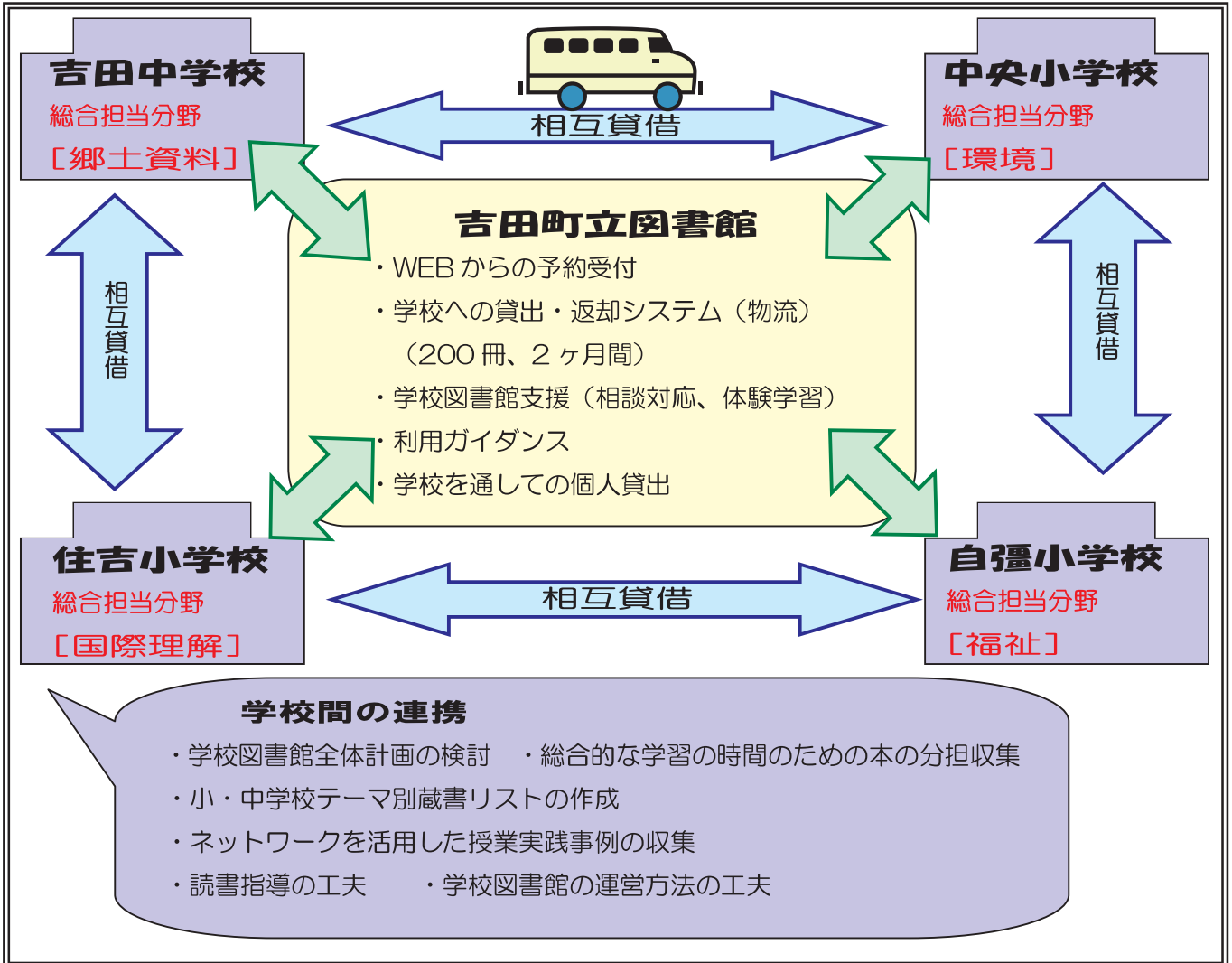
| | | |
|-----|----------------------|----|
| 4 | 読書指導の方法を工夫する | 12 |
| (1) | 学校図書館と出会うオリエンテーション | 12 |
| (2) | 「本探しの旅に出よう」 | 12 |
| (3) | 「中央子ども読書の日」 | 13 |
| (4) | 読書旬間から読書月間へ | 13 |
| 5 | 学校図書館の運営方法を工夫する | 13 |
| (1) | 図書委員会新聞で情報交換 | 13 |
| (2) | 「先生方のお薦めの本」コーナーの設置 | 14 |
| (3) | 「同じ作者の本」のコーナーの設置 | 15 |
| 6 | ボランティアの活動を工夫する | 15 |
| (1) | ボランティアによる読み聞かせ | 15 |
| (2) | ボランティアのための読み聞かせ講座 | 16 |
| (3) | ネットワークシステムを活用した読み聞かせ | 16 |
| (4) | ボランティアによる図書室の掲示 | 16 |
| IV | 成果と課題 | 17 |
| 1 | 成果 | 17 |
| 2 | 課題 | 18 |
| V | おわりに | 19 |

目 次（資料）

| | | |
|-------|------------------------------------|-----|
| 資料 1 | H 13~H 15 年度「学校図書館資源共有型モデル地域事業」の概要 | 2 0 |
| // 2 | 司書のあゆみ | 2 4 |
| // 3 | 司書の仕事 | 2 7 |
| // 4 | 吉田中学校図書館資料収集方針 | 2 9 |
| // 5 | 吉田中学校図書館資料除籍基準 | 3 4 |
| // 6 | 吉田中学校図書館事務分掌 | 3 5 |
| // 7 | 町立図書館利用案内 | 3 7 |
| // 8 | 各校学校図書館全体計画 | 3 8 |
| // 9 | 小・中学校総合的な学習の時間年間計画一覧 | 4 2 |
| // 10 | 吉田中学校図書館活用年間計画 | 4 3 |
| // 11 | 自彊小学校図書館活用年間計画 | 4 4 |
| // 12 | 図書館ネットワークを活用した授業実践（中央小学校） | 4 5 |
| // 13 | 図書館ネットワークを活用した授業実践（吉田中学校） | 5 2 |
| // 14 | 本探しの旅（中央小学校） | 5 6 |
| // 15 | 読書だより（自彊小学校） | 5 7 |
| // 16 | ネットワーク活用成果 | 5 9 |
| // 17 | 職員意識調査 | 6 1 |
| // 18 | 子どもの感想（中央小学校） | 6 3 |
| // 19 | 子どもの感想（吉田中学校） | 6 6 |
| // 20 | 読み聞かせボランティアの声 | 6 7 |

吉田町学校図書館資源共有ネットワーク推進事業構想図

テーマ：読む楽しさ 学ぶよろこびにあふれる学校図書館
～資源共有ネットワークをとおして～



ボランティア
図書室掲示物作成 読み聞かせ(週1回)
読み聞かせ講座受講